

(宗像大社 第二宮)



エネルギーコース 教授
塚本 俊介 先生

- A1** 有明高専在学中は、農家で病弱の両親の手伝いと経済的に困窮していたことから、他の学生と同じような活動ができないのが悩みでした。日曜日、部活の練習に行きたいのに農作業を指示されて行けなくなったり、前期中間試験の午後は毎日田植え、前期期末試験の午後は毎回、稻刈りの農作業を当てにされたりしていました。4年生の研修旅行は旅費を出せないからと、担任の先生に「旅行には行かない」と言ったこともあります。
- A2** 1,2年生の時は、不満をぶちまけながら親の作業指示に従いましたが、さすがに上級生になると部活も休めないので、いつごろにどのような農作業をすればいいかを事前に尋ねて、自分で計画を

立てて練習試合と重ならないように作業をこなしました。研修旅行の旅費は兄(兄も高校の旅行に行かなかった)に、「担任の先生が旅費を貸すから旅行に参加しなさい」と言ってくれたことを打ち明けたら、兄は「俺は行けんかったから、お前は行け」と旅費をポンと出してくれました。ありがたかったのと同時に、「相談すれば道は開ける」と、その時悟りました。

- A3** 高専時代を思い起こすと、バレー部・体育祭の応援・高専祭での映画制作・サイクリング・球技大会など、次々にその時々の場面が蘇ります。5年間は長いようで短いものです。今を精いっぱい活動して楽しむ(苦労することも含めて)ことを勧めます。それらを活動的にやるためにも、日々の勉強はコツコツやっておかないと、活動の全てができなくなることを理解することも大切です。意欲を持って何事にもチャレンジしてください。そうすれば君たちの将来は輝かしいものになるはずです。

学生相談室イベント

平成30年1月22日（月）16:30～17:30、本校合同講義室にて学生相談室イベント「コミュニケーションスキルアップ講座～自分の心のクセを知ろう～」を開催しました。講師は、本校非常勤カウンセラーの伊藤友紀子先生です。イベントでは、「認知のゆがみ」を示す8匹のユガミンの紹介がありました。ユガミンとは、ネガティブな思い込みを強め、嫌な気分を増してしまう考え方のクセをキャラクター化したものです。参加者は、それぞれ自分がどのユガミンに近いのか考え、対処法を学んでいました。

以下に、参加者の感想の一部を紹介します。

- ◆自分の考え方のクセを考えるのが面白かった。ユガミンで考えるのが楽しかった。
- ◆少し対人関係に対しポジティブになれそうな気がしました。

◆今日、講座を受けてみて、自分は結構、ネガティブな気持ちになりにくいのではないかという新たな考え方を持つことができました。ネガティブな気持ちになったにしろ、今回受けた話の中にあったように現状をなるべく客観的に見ようと思います。



Q&A

- Q1** 高校(高専)時代に悩んだことはどんなことでしたか?
- Q2** どのようにして悩みを解決されましたか?
- Q3** 在校生へのメッセージをお願いします。



一般教育科 教授
焼山 廣志 先生

A1 小中学校は市立だったのですが、人口が多かつたので6クラス小中学一貫校とも言える、9年間全く同じメンバーで過ごし、ほとんどが顔見知りなのでとても家庭的な雰囲気でものすごく楽しい生活の日々でした。ところが、高校は10クラス、10以上の中学校からなる地元の伝統校である進学校に入りました。知っているものがほとんどいない疎外感と、試験ごとに上位100人の名前が廊下や教室に毎回掲示されるという環境で、一気に競争の世界に投げ込まれ、また自分より優れている学友がこんなにもいると言う事実を突き付けられ、大きな挫折感を味わいました。

A2 中学校の時と全く異質の友人を見つけることに努力しました。それは2年生の時に生徒会役員に選出されることで実現しました。ミーティングと称して夜遅くまで居残ったのが、勉強に自信を無くしていた自分にとって心から楽しめる時間でした。もしこの友に恵まれていなかつたら僕の高校生活は無に等しかったかもしれません。どうか、高専生の皆さんも一生の友をここで作れることを祈っています。

A3 2つあります。

▲1

[自分の周りには自分よりすごい人間が必ず居る] という現実をしっかりと認識する事です。これはだから、自分が駄目なんだと卑屈になる事ではなく、だから、**[そんな自分でもきっと自分しかやれない事がある]** その自分しかやれないことを探し出す努力を続けることです。きっと見つかります。落穂拾いでいいのです。必ず、人の見落としている事が見つかります。僕の今の研究テーマにもそうして40年続けてきました。高校の時の挫折感が僕の原点です。

▲2

[これと決めたことに10年間は続けてみること] もし10年間続けてものにならなければ諦めて別のものに挑戦すればよいのです。僕は▲1でも述べたように研究テーマ一つに取り組み、もう40年以上経ちました。自分にとってはこれだけが、人に誇れる強みです。

僕の能力に比べて、もっともっとすごいものを持っていると予感させる有明高専生です。大好きでした。これからその素晴らしい原石に一層の磨きをかけて世界に羽ばたく人材の一人になってください。絶対にですよ!



建築学専攻
2年生
牛島 美夏 さん

A1 友達ができなかつたことです。今思えばたいした事ではないですが、本科を卒業し、専攻科では初対面の人ばかりで心細かつたです。

A2 友達がいないことを受け止めました。おかげ様で、おひとり様が得意になり、今ではひとりラーメ

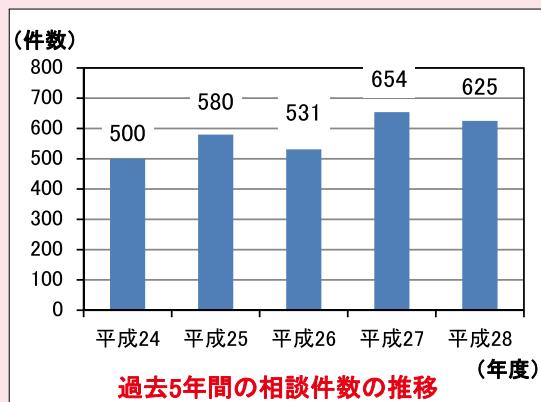
ン、ひとり水族館も行けます。でもそれは直接的な解決にはならなくて、気兼ねなく話しかけてくれるクラスメートや、明るく接してくださる先生方、後輩たちのおかげで、楽しく毎日を過ごせました。おかげ様で、たくさんの人の良い所をみつけることができ、大好きな人が増えました。

A3 みなさんのおかげで、毎日元気をもらいました。挨拶をしてくれて、笑顔で接してくれて、とても嬉しかつたです。ありがとうございました。

学生相談室の利用件数

以下の図表は、平成24年～28年度の学生相談室で受けた相談件数と平成28年度の相談内容の内訳です。平成28年度の相談件数(のべ件数)は625件でした。10年前は300件前後だったので、10年間で2倍以上になりました。また、相談内容についてはどの項目も年度によって件数が増えたり減ったりしており、目立った傾向はありません。しかし、以前よりSNSトラブルなどが増えていると感じています。

学生相談室は、いつも学生の身近な存在でありたいと考えています。何か悩みがあるときや困ったことがあれば、深刻な事態になる前に、早めに学生相談室を訪ねてください。解決に向かって一緒に考えていきましょう。



平成28年度相談内容と件数 ※カッコ内は平成27年度

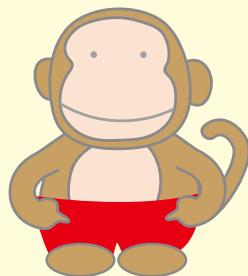
相談内容	件数	相談内容	件数
進路	58 (38)	性格	23 (91)
家庭環境	80 (122)	病気	88 (7)
恋愛	21 (50)	いじめ	5 (2)
対人関係	237 (122)	体形・体質	7 (40)
不登校	1 (5)	学生生活	32 (103)
学業	49 (50)	その他	24 (36)
合 計		625 (654)	

保健室便り

下着はつよ~い見方です

寒いからとたくさん服を着込んで着ぶくれしていませんか？

寒いときの強い味方が「下着」で、上手な重ね着のポイントは「空気の層」をつくること。一番下には体にほどよくフィットする下着を、その上にシャツやセーターを重ねていくと、効率よく空気の層がつくられ体を保温してくれます。これならそう厚着しなくてもいいですし、体の動きもさまたげられません。最近は汗を吸収すると発熱する素材の下着もあります。うすくても寒さを上手にふせいでくれます。



相談室の場所は

- 学生相談室 修己館1階保健室の左隣り
☎ 0944-53-8657
- カウンセリング室 修己館1階保健室内
☎ 0944-53-8625
- 西山治利教員室 一般教育科北棟2階
☎ 0944-53-8675
- 鮫島朋子教員室 共通専門棟3階
☎ 0944-53-8669
- 篠崎烈教員室 機械工学科棟2階
☎ 0944-53-8677
- 嘉藤直子教員室 一般教育科北棟3階
☎ 0944-53-8640

編集後記

昨年に世界遺産に登録された宗像大社へ初詣に行ってきました。参拝する方が多く、神社付近ではかなりの車で渋滞になっていました。私は、最寄りの駅からタクシーで行ったのですが、運転手さんに尋ねると、「普通の行き方をすると1時間30分くらいかかりますよ。料金が余計にかかりますが、回り道をしたほうが20分くらいで着きますよ。」と言われて、早く着く方法で行ってもらいました。そうやって行った宗像大社の本殿の裏に第二宮、第三宮があり、表紙の写真はその第二宮です。これは、宗像三女神の「田心姫神(たごりひめのかみ)」を祀ったものです。一度、参拝されてみてはどうですか!

(西山記)

有明工業高等専門学校
学生相談室便り
『微笑み』第36号

発行月 平成30年2月
発 行 有明工業高等専門学校
学生相談室
〒836-8585
大牟田市東萩尾町150
電話番号 0944-53-8657